

【上田看護専門学校シラバス（授業計画）】

分野等	基礎分野	配当学年・時期	1年次・前期	担当講師名
授業科目名	文学	単位数・時間数等	1 単位 30 時間	外部講師
		授業回数	14回 + 試験	
<p>[概要]</p> <p>・多様な生き方、考え方を通して人間としての情緒、感性を養う。 また自ら興味・関心のある芸術的なテーマに取り組むことにより、創造性を養う。</p> <p>[目標]</p> <p>1. 文学を読み、感想を書くことを通して、感性を養う。 2. 文学を読み、感想を書くことを通して、人に伝わる文章が書ける。</p>				
授業回数	【授業内容】			学習形態（講義、GW、PP、DVD、等）
1	看護になぜ文学が必要なのか？考えてみよう			講義
2	森鷗外という人物について 彼の作品から「高瀬舟」を読む①			↓
3	「高瀬舟」を読む② 感想文を書くために 書き方講習			↓ 課題
4	「高瀬舟」を読む③ 「高瀬舟」を読んで感想まとめ			↓
5	SFとは？SFについて 「目覚めよ、眠れ」逢坂冬馬①			↓
6	「目覚めよ、眠れ」逢坂冬馬②			↓
7	「目覚めよ、眠れ」逢坂冬馬③ 読み終えて課題文			↓ 課題
8	短歌・俳句の成り立ち 文学としての短詩型文学を味わう			↓ ↓
9	短歌を創る 俳句を創る			↓
10	創作した作品の鑑賞会 及び清書			↓
11	村上春樹について彼の作品から「青が消える」を読む①			↓
12	「青が消える」を読む② 解釈は色々ある。自分にひきつけて読む			↓
13	「青が消える」③を読み終えて課題文を書く			↓
14	「私にとっての文学」という題で文章を書く			↓ 課題
	学科終了試験			
【使用テキスト】		【単位・成績の認定方法】		
講師準備資料		学科終了試験		
【自己学習時間】		【事前・事後学習】		
15 時間		前回の講義資料を復習する テキストの関連部分読む 課題が提示された場合は、事前に調べて参加する		
【実務経験と当該科目との関連】				

【上田看護専門学校シラバス（授業計画）】

分野等	基礎分野	配当学年・時期	1年次・前期	担当講師名
授業科目名	看護のための科学	単位数・時間数等	1 単位 30 時間	外部講師
		授業回数	14回 + 試験	
[概要]				
<ul style="list-style-type: none"> ・生物を構成する基本は細胞である。細胞が集まって組織や器官そして個体を形作っている。そこで細胞のはたらきについて学習し、細胞内の代謝について理解を深める。 ・化学では、医療現場で働く時に必要な薬液を希釈したり、医薬品を投与したり検査値を読み取ったり、医療機器を操作したりする場面においての化学の知識を深める。 ・物理では、医療現場や日常で当たり前に行っているが物理の法則に乗って行っていることが多くあることを学ぶ。 				
[目標]				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間の細胞から身体を理解できるように、生物の基礎知識理解する。 2. 医療現場で働くための化学の基礎知識を身につけることで基礎知識をつくる。 3. 物理学の知識が看護や治療などで主に使われていくのか基礎を学ぶ。 				
授業回数	【授業内容】			学習形態（講義、GW、P P、DVD、等）
1	化学	1～5章 抜粋・科学（物：化・生）の基礎知識・物質		講義
2		5～12章 ・酸塩基・浸透圧・有機・生体抗生物質・無機質		↓
3				↓
4	生物	第1章 生命体のつくりとはたらき		↓
5		第2章 生体維持のエネルギー		↓
6		第3章 細胞の増殖とからだのなりたち		↓
7		第4章 遺伝情報とその伝達・発現のしくみ		↓
8		第5章 生殖と発生		↓
9		第6章 個体の調節		↓
10				↓
11				↓
12	第7章 刺激の受容と行動		↓	
13	物理	1章、2章 力のつり合い・モーメント・浮力・熱		↓
14		5章 放射線		↓
学科終了試験				
【使用テキスト】			【単位・成績の認定方法】	
系統看護学講座 基礎分野 生物学、化学、物理学 医学書院			学科終了試験	
【自己学習時間】	【事前・事後学習】		【実務経験と当該科目との関連】	
15 時間	前回の講義資料を復習する テキストの関連部分読む 課題が提示された場合は、事前に調べて参加する			

【上田看護専門学校シラバス（授業計画）】

分野等	基礎分野	配当学年・時期	2年次・後期	担当講師名
授業科目名	哲学	単位数・時間数等	1 単位 20 時間	外部講師
		授業回数	9回 + 試験	
[概要]				
<ul style="list-style-type: none"> 人間の諸活動や世界について哲学的・倫理的に学び、考え、思索をみにつける。 合わせて道徳的な部分を学ぶ。 				
[目標]				
<ul style="list-style-type: none"> 人間の諸活動や世界について哲学・倫理について学ぶ。 哲学・倫理学について考え、思索することができる。 				
授業回数	【授業内容】			学習形態（講義、GW、P P、DVD、等）
1	「命は尊い」ということは？		「看護倫理」1章	講義 GW
2	疑うということ ソクラテス・デカルト		〃	↓
3	生命倫理 ベンサム・カント など		2章	↓
4	〃		〃	↓
5	源流の思想 三大宗教（キリスト教・仏教・イスラーム）		3章	↓
6	〃		〃	↓
7	中国の思想 諸子百家 など		4章	↓
8	社会と個人の関係 社会契約説		〃	↓
9	現代の諸課題と倫理		1～4章をふり返る 倫理の意味を考える	↓
	学科終了試験			
【使用テキスト】		【単位・成績の認定方法】		
テオリア 最新倫理資料集 第一学習社 系統看護学講座 別巻 看護倫理 第1章～第4章 医学書院		学科終了試験 70% 毎回の提出物など 30% とする		
【自己学習時間】	【事前・事後学習】			
25 時間	前回の講義資料を復習する テキストの関連部分読む 課題が提示された場合は、事前に調べて参加する			
【実務経験と当該科目との関連】				

【上田看護専門学校シラバス（授業計画）】

分野等	基礎分野	配当学年・時期	1年次・前期	担当講師名
授業科目名	心理学	単位数・時間数等	1 単位 20 時間	外部講師
		授業回数	9回 + 試験	
<p>[概要]</p> <p>・看護の対象である患者の気持ちを理解するために、また自分自身の心を理解するために基本的な知識を養う。</p> <p>[目標]</p> <p>1. 人間の心理を理解するための基礎として、人間の心理や行動のしくみと背景、人間関係を学ぶ。</p> <p>2. 臨床心理学や健康心理学、行動分析学などの実際の看護場面で利用できる心理学の方法・考え方を学ぶ。</p>				
授業回数	【授業内容】			学習形態（講義、GW、PP、DVD、等）
1	人間を理解するための基礎 【心理学とは】 【感覚・知覚の心理】			講義
2	【学習・記憶の心理】			↓
3	【感情・動機の心理】 【性格と知能の心理】			↓
4	【発達心理】			↓
5	【社会・集団の心理】			↓
6	医療場粘Dの人間理解の展開 【カウンセリングと心理療法】			↓
7	【健康の心理と人間理解】 ストレスと私たち			↓
8	【健康の心理と人間理解】 自己理解と他者理解① (患者の理解と看護職者の理解)			↓
9	【健康の心理と人間理解】 自己理解と他者理解②			↓
	学科終了試験			
【使用テキスト】		【単位・成績の認定方法】		
看護学生のための心理学 医学書院		学科終了試験		
【自己学習時間】	【事前・事後学習】			
25 時間	前回の講義資料を復習する テキストの関連部分読む 課題が提示された場合は、事前に調べて参加する			
【実務経験と当該科目との関連】				
・実務経験があるスクールカウンセラー（臨床心理士・公認心理師）が担当				

【上田看護専門学校シラバス（授業計画）】

分野等	基礎分野	配当学年・時期	1年次・前期	担当講師名
授業科目名	論理学	単位数・時間数等	1 単位 20 時間	外部講師
		授業回数	9回 + 試験	
<p>[概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物事を論理的に思考し客観的に評価できるような物の見方・表現方法（文章表現・自己表現）を養う。 ・論文（看護研究）を書く基礎的な知識を養う。 <p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物事を論理的に思考し客観的に評価できるような物の見方・表現方法（文章表現・自己表現）を理解できる。 ・論文（看護研究）を書く基礎的な知識を理解できる。 				
授業回数	【授業内容】			学習形態（講義、GW、PP、DVD、等）
1	論文作成の基礎 その1			講義
2	論文作成の基礎 その2			↓
3	討議の実践 その1			↓
4	討議の実践 その2			↓
5	討議の実践 その3			↓
7	発表の実践法 その1			↓
8	発表の実践法 その2			↓ 課題
9	発表の実践法 その3			演習
	学科終了試験			
【使用テキスト】		【単位・成績の認定方法】		
論理トレーニング：野矢茂樹 (哲学教科書シリーズ)		学科終了試験		
【自己学習時間】	【事前・事後学習】			
25 時間	前回の講義資料を復習する テキストの関連部分読む 課題が提示された場合は、事前に調べて参加する			
【実務経験と当該科目との関連】				

【上田看護専門学校シラバス（授業計画）】

分野等	基礎分野	配当学年・時期	1年次・前期	担当講師名
授業科目名	看護情報学	単位数・時間数等	1 単位 30 時間	外部講師
		授業回数	14回 + 試験	
[概要]				
<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを取り入れながら、「情報」と「コミュニケーション」を看護の実践や学問としての看護に生かす方法を学ぶ。 ・レポートの書き方の基礎が理解できる。 ・基本的な統計の整理の仕方、統計資料の解読を理解する。 				
[目標]				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 「情報」とはなにかがわかり、保健医療における情報の活かし方が理解できる。 2. 情報取り扱う上での、情報倫理について理解し、新しい情報の作り出し方、広め方を理解する。 3. レポートの書き方の基礎がわかる。 4. 基本的な統計の整理の仕方がわかる。 5. 統計資料の解読がわかる。 				
授業回数	【授業内容】			学習形態（講義、GW、PP、DVD、等）
1	看護情報学	情報と情報社会		講義、PP
2		保健医療における情報		↓
3		情報倫理と医療 患者の権利と情報		↓
4		個人情報の保護 コンピュータリテラシーとセキュリティ		↓
5		既存の情報の収集方法 質問紙調査によるデータ収集		↓
6		Excelによる統計解析		↓
7		文字情報の整理		↓
8		情報の発表とコミュニケーション		↓
9	統計学	統計学入門		↓
10		統計学データの種類とまとめ方		↓
11		確率と分布		↓
12		母集団・標本と推定		↓
13		各種検定		↓
14		保健統計の基礎		↓
学科終了試験				
【使用テキスト】			【単位・成績の認定方法】	
系統看護学講座 別冊 看護情報学			学科終了試験	
系統看護学講座 基礎分野 統計学 医学書院				
【自己学習時間】	【事前・事後学習】		【実務経験と当該科目との関連】	
15 時間	前回の講義資料を復習する テキストの関連部分読む 課題が提示された場合は、事前に調べて参加する			

【上田看護専門学校シラバス（授業計画）】

分野等	基礎分野	配当学年・時期	1年次・前期	担当講師名
授業科目名	育みⅠ	単位数・時間数等	1 単位 30 時間	外部講師 2名
		授業回数	14回 + 試験	
単元A[概要] ・音楽を通して、音楽の魅力を理解するとともに、言葉や音楽についての感性を磨き、表現力を身につける。また、音楽が人のあらゆる側面に与える影響を学び、音楽療法の意義を学ぶ。 [目標] 1. 豊かな感性・心・想像力を養う。 2. 音に触れることで自己を表現したり開放する機会とする。 3. 優れた音楽作品を聴くことで、音楽が人のあらゆる側面に与える影響を学び、音楽療法の意義を理解する。 1) 身体 2) 心 3) 脳 4) 社会性の向上				
単元B[概要] ・肥満・メタボリックシンドロームなどの身体機能の科学的分析を学び、健康の維持・増進における運動の重要性を学ぶ。活動を通して心身の健康促進とチームワークを育む。 [目標] ・健康の維持・増進のための運動の必要性とその方法が理解できる。 ・日常生活に必要な体の使い方がわかる。 ・団体競技を通しチームワークの必要性がわかる。				
単元	授業回数	【授業内容】		学習形態（講義、GW、P P、DVD、等）
A	1	音：音楽を考える・歌唱 ・鑑賞		講義
	2	音楽療法の歴史-音楽の特性		↓
	3	音楽 音楽療法の理解		↓ 実技等
	4	治療読ぐとしての音楽の使い方		↓
	5	音楽療法の実際 発達障害に対する音楽療法		↓
	6	音楽療法の実際 高齢者に対する音楽療法		↓
	7	音楽療法の実際 精神科領域・ホスピスでの音楽療法		↓
B	8	運動の意義と役割 自分のからだの状態把握(リンパケア・ストレ		講義
	9	健康な身体づくり(リンパケア・ストレッチ・有酸素運動)		実技
	10	ストレッチ・有酸素運動・ポッチャ		↓
	11			↓
	12			↓
	13			↓
	14	↓ まとめ		↓
学科終了試験				
【使用テキスト】		【単位・成績の認定方法】		
講師準備資料		評価割合：単元A 50%、単元B 50% 学科終了試験 授業参加態度		
【自己学習時間】		【事前・事後学習】		
15 時間		前回の講義資料を復習する テキストの関連部分読む 課題が提示された場合は、事前に調べて参加する		
【実務経験と当該科目との関連】				

【上田看護専門学校シラバス（授業計画）】

分野等	基礎分野	配当学年・時期	1年次・前期	担当講師名
授業科目名	育みⅡ	単位数・時間数等	1 単位 15 時間	専任教員
		授業回数	7回 + 試験	
<p>[概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会に出て職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的能力について知る。 <p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「人との関係を作る能力」「課題を見つけ、取り組む能力」「自分をコントロールする能力」について理解し、自己の課題に気づくことができる。 				
授業回数	【授業内容】			学習形態（講義、GW、PP、DVD、等）
1	学習の進め方／自己紹介／仲間づくり			講義 演習
2	社会人基礎力とは／社会人になるという自覚／プロフェッショナルリズム			↓
3	10年後の将来を考える 人生設計とキャリアデザイン			↓ 演習
4	自分の考えている看護師像→ 期待される看護師像			↓ 演習
5	ディベート 討議する課題とチーム編成			↓ 演習
6	ディベート			↓
7	セルフマネジメントシステム・ストレス環境と医療現場			↓ 演習
	学科終了試験			
【使用テキスト】		【単位・成績の認定方法】		
講師準備資料		学科終了試験 授業の取り組み、課題		
【自己学習時間】	【事前・事後学習】			
30 時間	前回の講義資料を復習する テキストの関連部分読む 課題が提示された場合は、事前に調べて参加する			
【実務経験と当該科目との関連】				
・ 臨床経験がある専任教員が担当				

【上田看護専門学校シラバス（授業計画）】

分野等	基礎分野	配当学年・時期	2年次・前期	担当講師名
授業科目名	育みⅢ	単位数・時間数等	1 単位 15 時間	外部講師
		授業回数	7回 + 試験	
<p>[概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家族と親族、地域社会・共同体・民族などの概念から、わが国の土着の文化を含めた多様な文化への理解を深め、文化の比較を行い、文化人類学を理解する。 ・ 異文化交流を通し、地域の特徴など理解する。 ・ 文化が持つ様々な働きや、思考・行動との関係性を理解し、患者の多様な受診行動の文化的・社会的背景を理解する。 <p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家族と親族、地域社会・共同体・民族などの概念から、わが国の土着の文化を含めた多様な文化への理解を深め、文化の比較を行い、文化人類学をわかる。 ・ 異文化交流などを行う中で地域の特徴などがわかる。 ・ 文化が持つ様々な働きや、思考・行動との関係性を理解し、患者の多様な受診行動の文化的・社会的背景がわかる。 				
授業回数	【授業内容】			学習形態（講義、GW、PP、DVD、等）
1	文化人類学	人間と文化 質的研究とエスノグラフィー		講義
2		個人・家族・家族をこえたつながり 人生と通過儀礼		↓
3		宗教と世界観 健康と医療 いのちと文化		↓
4	上田地域について			↓
5	外国人籍の方から異文化を学ぶ			↓
6	外国人籍の方との交流会			交流会
7	↓			↓
	学科終了試験			
【使用テキスト】		【単位・成績の認定方法】		
医学書院 文化人類学		学科終了試験		
【自己学習時間】		【事前・事後学習】		
30 時間		前回の講義資料を復習する テキストの関連部分読む 課題が提示された場合は、事前に調べて参加する		
【実務経験と当該科目との関連】				

【上田看護専門学校シラバス（授業計画）】

分野等	基礎分野	配当学年・時期	3年次・前期	担当講師名
授業科目名	社会学	単位数・時間数等	1 単位 30 時間	外部講師
		授業回数	14回 + 試験	
[概要]				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会的行為や相互行為、個人行為、個人と社会、社会と文化などを理解し、社会学的なものの見方、考え方を身につける。 				
[目標]				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会的行為や相互行為、個人行為、個人と社会、社会と文化などを理解する。 2. 社会学的なものの見方、考え方を身につけることができる。 				
授業回数	【授業内容】			学習形態（講義、GW、PP、DVD、等）
1	社会学の基礎概念			講義
2	社会学的視点とモデル			↓
3	保健医療と社会学			↓
4	社会調査の理論と技法			↓
5	健康・病気・ストレスの新しい見方ととらえ方			↓
6	健康・病気の社会格差			↓
7	「働き方」と「働かせ方」と健康・病気			↓
8	健康・病気講堂と病経験			↓
9	患者－医療者関係とコミュニケーション			↓
10	保健医療の専門職			↓
11	性・ジェンダー・家族と保健医療			↓
12	地域社会と保健医療			↓
13	保健医療制度			↓
14	保健医療の現代的变化の位相			↓
	学科終了試験			
【使用テキスト】		【単位・成績の認定方法】		
系統看護学講座 基礎分野 社会学 医学書院		学科終了試験		
【自己学習時間】		【事前・事後学習】		
15 時間		前回の講義資料を復習する テキストの関連部分読む 課題が提示された場合は、事前に調べて参加する		
【実務経験と当該科目との関連】				
・ 実務経験があるスクールカウンセラー（臨床心理士・社会福祉士）が担当				

【上田看護専門学校シラバス（授業計画）】

分野等	基礎分野	配当学年・時期	3年次・前期	担当講師名
授業科目名	教育学	単位数・時間数等	1 単位 30 時間	外部講師
		授業回数	14回 + 試験	
<p>[概要]</p> <p>・望ましい人間形成における教育の意義・方法を理解し、生涯学習や看護活動（看護の評価・健康教育等）に生かすための基礎的能力を身につける。</p> <p>[目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会における看護と教育について理解する。 2. 共育の営みとして、学校と家庭の関係を理解する。 3. ジェンダー・セクシャリティと教育の課題を理解する。 4. キャリア教育の必要性の理解とキャリア形成力を育成する。 5. 特別ニーズ共育・インクルーシヴ教育を理解する。 6. 生涯学習の必要性と看護における学びの意義を理解する。 				
授業回数	【授業内容】			学習形態（講義、GW、P P、DVD、等）
1	社会の中の看護と教育			講義
2	子ども観と発達			↓
3	教育の営みを考える			↓
4	↓			↓
5	新課題：特別ニーズ共育・インクルーシヴ教育			↓
6	特別ニーズ共育・インクルーシヴ教育			↓
7	障がい者への理解			↓
8	新課題：ジェンダーとセクシャリティ			↓
9	新課題：キャリア教育			↓
10	キャリア教育			↓
11	新課題：生涯学習			↓
12	生涯学習			↓
13	新課題：シティズンシップ教育			↓
14	授業の総括			↓
	学科終了試験			
【使用テキスト】		【単位・成績の認定方法】		
系統看護学講座 基礎分野 教育学 医学書院		学科終了試験		
【自己学習時間】	【事前・事後学習】			
15 時間	前回の講義資料を復習する テキストの関連部分読む 課題が提示された場合は、事前に調べて参加する			
【実務経験と当該科目との関連】				
・実務経験がある元県内高等学校校長・元教育相談員が担当				

【上田看護専門学校シラバス（授業計画）】

分野等	基礎分野	配当学年・時期	1年次・前期	担当講師名
授業科目名	人間関係論	単位数・時間数等	1 単位 30 時間	外部講師
		授業回数	14回 + 試験	
<p>[概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団力学の理論を修得し、相互に影響を与えながら自己が他者と形成する人間関係を理解し、円滑な人間関係を作り上げる能力を養う。 ・人間の心と行動について学び、自己と他者を理解する。また、成人への成長・発達に伴う変化と個人差について理解する。カウンセリングの概説を学び看護におけるカウンセリングにつなげる。 <p>[目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人間関係を構成する自己と他者をどのように捉えているのかを知る。 2. コミュニケーションがどのような特徴を持ち、どのような機能をはたすのか理解する。 3. カウンセリングや認知・行動療法の考え方など、実際の看護場面で利用出来る心理療法を知る。 4. コーチングやアサーティブコミュニケーションを看護場面で応用できるように学ぶ。 				
授業回数	【授業内容】			学習形態（講義、GW、P P、DVD、等）
1	人間関係の中の自己と他者			講義
2	対人関係と役割			↓
3	態度と対人関係			↓
4	集団と個人			↓
5	コミュニケーション 1			↓
6	↓ 2			↓
7	カウンセリング・心理療法			↓
8	コーチング			↓
9	アサーティブコミュニケーション 1			↓
10	↓ 2 (演習含む)			↓ 演習
11	保健医療チームの人間関係			↓
12	患者を支える人間関係			↓
13	家族を含めた人間関係			↓
14	地域をつくる人間関係			↓
	学科終了試験			
【使用テキスト】		【単位・成績の認定方法】		
系統看護学講座 基礎分野 人間関係論 医学書院		学科終了試験		
【自己学習時間】	【事前・事後学習】			
15 時間	前回の講義資料を復習する テキストの関連部分読む 課題が提示された場合は、事前に調べて参加する			
【実務経験と当該科目との関連】				

【上田看護専門学校シラバス（授業計画）】

分野等	基礎分野	配当学年・時期	1年次・後期	担当講師名
授業科目名	英語 I	単位数・時間数等	1 単位 30 時間	外部講師
		授業回数	14回 + 試験	
【概要】 1. 異文化を理解し異なる言語を話す人とコミュニケーションをとる基礎的能力を養う。 2. 看護場面に必要な英会話の基本を学ぶ。 3. 医療現場ですぐに使える単語表現を学ぶ。 4. CDを用いてよりよい発音で英文を読み、話せるようにする。 5. 教科書にあるまとまった英文を正しく読解する。 【目標】 1. 英語で英語圏の文化を理解し、英語によるコミュニケーション能力を養う。 2. 看護や治療の成果に影響する英語会話力を高める。 3. 医療に関する基本的な英単語・英文法を理解する。 4. 教科書に出てくる長文の聞き取り、書き取り、音読・和訳ができる力を身につける。				
授業回数	【授業内容】			学習形態（講義、GW、PP、DVD、等）
1	Unit 1 自己紹介・初診受付の流れを学ぶ①・症状を伝える基本お表現を学ぶ			講義
2	Unit 2 初診受付の流れを学ぶ②・初期登録に必要な表現を学ぶ・確認テスト			↓
3	Unit 3 初診受付の流れを学ぶ③・保険に関する表現を学ぶ・確認テスト			↓
4	Unit 4 患者を案内する・各診療科の名称を学ぶ・確認テスト			↓
5	Unit 5 患者の症状を聞く・風邪症状の表現を学ぶ・確認テスト			↓
6	Unit 6 薬の処方について学ぶ・痛みの表現を学ぶ・確認テスト			↓
7	Unit 7 診察の流れを学ぶ・アレルギー症状の表現を学ぶ・確認テスト			↓
8	Unit 8 外科診療の流れを学ぶ・痛みを表す表現を学ぶ・確認テスト			↓
9	Unit 9 問診の流れを学ぶ・生活習慣を伝える表現学ぶ・確認テスト			↓
10	Unit 10 患者に検査をすすめる・精密検査に関する表現を学ぶ・確認テスト			↓
11	Unit 11 検査結果を説明する・精密検査に関する表現を学ぶ・確認テスト			↓
12	Unit 12 検査結果を説明する・数値を伝える表現を学ぶ・確認テスト			↓
13	Unit 13 患者に入院をすすめる・健康指導の表現を学ぶ・確認テスト			↓
14	Unit 14 入院前の説明を行う・入院に関する表現を学ぶ・確認テスト			↓
	学科終了試験			
【使用テキスト】				【単位・成績の認定方法】
English for Care and Hospitality I Yumi Press				学科終了試験
【自己学習時間】	【事前・事後学習】			
15 時間	前回の講義資料を復習する テキストの関連部分読む 課題が提示された場合は、事前に調べて参加する			
【実務経験と当該科目との関連】				

【上田看護専門学校シラバス（授業計画）】

分野等	基礎分野	配当学年・時期	3年次・前期	担当講師名
授業科目名	英語Ⅱ	単位数・時間数等	1 単位 30 時間	外部講師
		授業回数	14回 + 試験	
[概要] 1. 医療現場で使われる英語を理解し、コミュニケーションをとる基礎力を養う。 2. 看護場面に必要な英会話の基本を学ぶ。 3. 医療現場ですぐに使える単語表現を学ぶ。 4. CDを用いてよりよい発音で英文を読み、話せるようにする。 5. 教科書にあるまとまった英文を正しく読解する。				
[目標] 1. 医学英語の基礎を身につけ、医療従事者としての英語コミュニケーション能力を養う。 2. 看護や治療の成果に影響する英語会話力を高める。 3. 医療に関する基本的な英単語・英文法を理解する。 4. 教科書に出てくる長文の聞き取り、書き取り、音読・和訳ができる力を身につける。				
授業回数	【授業内容】			学習形態（講義、GW、PP、DVD、等）
1	Unit 1 内科で使う英語表現／前置詞の使い方			講義
2	Unit 2 外科で使う英語表現／指示の表現			↓
3	Unit 3 産科で使う英語表現／外来での表現			↓
4	Unit 4 小児科で使う英語表現／ワクチン用語			↓
5	Unit 5 眼科で使う英語表現／読解「Jet Lag」			↓
6	Unit 6 耳鼻咽喉科で使う英語表現／略語			↓
7	Unit 7 皮膚科診療で使う英語表現／道案内の表現			↓
8	Unit 8 整形外科で使う英語表現／「osteoporosis」			↓
9	Unit 9 放射線科で使う英語表現／読解「Walk Tall」			↓
10	Unit 10 泌尿器科で使う英語表現／数の表し方			↓
11	Unit 11 婦人科で使う英語表現			↓
12	Unit 12 診療内科で使う英語表現／何かをする前の声かけ表現			↓
13	Unit 13 老人科で使う英語表現／何かをする前の声かけ表現			↓
14	Unit 14 緩和ケアに関する英語表現／薬に関する表現			↓
	学科終了試験			
【使用テキスト】				【単位・成績の認定方法】
English for Care and Hospitality I Yumi Press				学科終了試験
【自己学習時間】		【事前・事後学習】		
15 時間		前回の講義資料を復習する テキストの関連部分読む 課題が提示された場合は、事前に調べて参加する		
【実務経験と当該科目との関連】				